

図書館だより



休館日…5日(木)、毎週月曜日

★「子ども読書の日」記念

おはなしを楽しむ会

日時…21日(土) 14時～14時45分
 会場…八日市場図書館2階集会室
 対象…1人で静かにおはなしが聞ける4歳から小学校3年生くらいまでの児童
 内容…大型絵本の読み聞かせ、パネルシアターほか
 定員…70人 参加費…無料

★おはなし会(八日市場図書館)

7・14・21・28日(土) 14時～ 約30分間
 八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

★ドリームキッズ(のさか図書館)

日時…28日(土) 10時30分～
 内容…本の読み聞かせなど

☎若林 ☎67-5965

寄付(2万円以上)

- 七宝焼Bサークル様より…25,236円
- 共興地区演芸大会実行委員会様より…24,673円
- 東総藤丸会(代表・林信一)様より…30,000円
- 匠匠商業協同組合(代表・並木孝雄)様より…20,000円

市政の窓 No.21



東日本大震災発生から1年。全国でさまざまな行事が行われました。

感動の古里散歩

本市では、被災地の早期復興を願い、東北3県からも出店をいただき「まちづくり駅前市場」を開催。初日はあいにくの冷たい雨風に見舞われましたが、2日は春を感じる陽気の中で、延べ3千人以上のご来場をいただきました。

私も、企画の目玉である「古里散歩」に参加し、八日市場駅と植木センター間の往復8キロを歩きました。本格的な散歩は初めてであり、遠足気分です。道中の川繁園、東城園、石橋農園、植木センターの各社長さんや関係者の方々、伝統芸士の鶴殿さんにも大変お世話になりました。さらには、下富谷の皆さんがコースを清掃してくださいました。感謝感激です。

区民総出のみよざら
 また、区民総出のみよざら

り、遠足気分です。スタート。コースの大半はいつも何気なく車で通る道路でしたが、歩きでの景色はまったく違って見えます。「いやあ、我がまち匠瑛はこんなに良い所であったのか」見渡す限りの緑に「さすが植木のまちだ」と恥ずかしながら再認識した次第です。道中の川繁園、東城園、石橋農園、植木センターの各社長さんや関係者の方々、伝統芸士の鶴殿さんにも大変お世話になりました。さらには、下富谷の皆さんがコースを清掃してくださいました。感謝感激です。

匠瑛市長 太田安規

文芸コーナー

短歌

髪洗日差し明るき縁側に心ぬくもり新聞を読む

上谷中 林 かつ

妹が学芸会にダンスせし「月の砂漠」を心で歌う

平木 戸村とき子

雨降らぬ日々の続きで乾燥し底冷えするき今朝は初雪

八日市場イ 山崎 朝子

ふんわりと椿の枝に初の雪惜しむ心も溶かし消えたり

入山崎 依知川雅一

宮島の王朝みやび映しだす平家納経絶頂伝う

長谷 宇野とし子

過ぎし日のつれづれ友と語り合う湯治の宿の外は雪化粧

八日市場イ 川手 芳

古里へ思慕がつのると友の文文字の滲むは老いの涙か

平木 大木ヨシ子

この年になっても口に出る言葉「野菊一本残し逝きたし」

山桑 佐藤 泰子

臘梅の香に目覚めたる朝明けを見惚れるにけり黄に透ける花

今泉 熱田千代子

立春の後も寒さの厳しきにチューリップの芽の揃ひて出でぬ

野手 石田 秀子

やうやうに雪の晴れたる朝の陽に小鳥の声の小さく聞ゆ

野手 佐藤 晃子

砂に水染むが如くに我がこころ潤しくれし友の言葉よ

今泉 小川みさ子

俳句

突堤は人を拒みて春怒涛

登戸 伊藤 さく

西野 棠雨 推薦

春の祭り

米倉を歩く

匝瑳探訪

-71-



年度の始まりを告げる葦茅神社の神輿

4月1日の日曜日、中央地区米倉で葦茅神社の祭礼が行われます。
江戸時代、米倉村の産土神は「大宮大六天」と呼ばれていました。もとは西光寺に面した字善道地(あきせんだうじ)にあって、1534年に現在地に移しまつられたと伝わっています。明治になり大六天から葦茅神社と改称されましたが、なぜ葦茅としたかはわかっていません。それまでは神社に隣接して成就院という寺があり、神と仏が一体となって信仰されていました。

から市町村で導入したとされます。記録がなくなはつきり言えませんが、当時の米倉村の合併経緯から村の人たちが先進的に4月3日を祭日にしたと考えたくなります。
米倉では鎌倉時代、1256年に「匝瑳莊米倉郷」での宗教活動が知られ、布教僧がこと鎌倉(神奈川愚)を往来していました。今年2月の公民館まつりに米倉集落南側の沼地を示した明治前期の地図が発表されました。それを見ると、栗山川から沼地を通過して八日

最近では4月最初の日曜日に祭礼が行われませんが、以前は4月3日が祭日でした。4月1日から翌年3月31日までの会計年度は、明治22年4月

市場台地に至る水運が想像でき、これによって匝瑳台の生尾・老尾神社、宮本・熊野神社、松山神社(いずれも匝瑳地区)などに集落が形成され神社がまつられたことがうなずけます。
鎌倉時代からの善導寺、その後の等妙寺、西光寺も千葉氏の流れをくむ椎名氏などの信仰活動により寺観を整え、集落も高台から平坦地に移るなかで、葦茅神社も移転したのでしよう。
江戸時代初期に西光寺は下総の真言宗の中心寺院として末寺120か寺余りを有する大寺院となり、盆踊り歌に「米倉西光寺」と歌い込まれるほどでした。米倉山を背にした景観は往時を彷彿させるものといえます。
明治前期、めまぐるしく制度が変わるなかで単独村として小学校を建て、明治の町村合併後も分校として維持し、戦後の昭和22年には米倉が新制中学校建設候補地とされたこともありました。
米倉・葦茅神社祭礼の神輿巡行は、新年度の始まりを告げるものといえましょう。

問 秘書課広報広聴班

☎ 73・0080

バス停で靴底こする春の泥
春寒の波のつぶやき砂に消え
遠き日の春泥の庭藁筵
房総の台地に春の雪景色
利休忌や篋騒ぐひと日なり
囀りを捉へて猫の耳の立ち
菜の花やたちまちにくる一周忌

飯高	飯塚	八日市場ハ
安藤 建子	及川 春子	大川 宣子
上谷中	八日市場口	
太田三樹夫	高安せい子	
横須賀	高野 隆志	
岩井 やす		
春海		
浜野 隆志		

川口 城司 推薦

春めくや試行錯誤の味噌搗きす
東風吹けば蕾もろもろふくらまむ
小康の身に三つ葉つむ芹をつむ

栢田	堀川	今泉
伊藤 定子	高野 操	野仲 妙子

川柳

高梨 果宝 推薦

クラス会十余年ぶり紅をさす
ときめきは生きてる証白寿まで
雨蛙心ときめき奇声上げ
はやぶさの砂に人類わくわくす
ランドセル親の期待も込めて背負い
若き日のときめく心古稀と消え
春一番土盛り上げて露の臺
一線を越えたい恋が未だ躊躇

大浦	木積	飯塚	八日市場イ	八日市場ホ	飯高	八日市場イ	八日市場イ
江波戸清江	佐久間美智子	鈴木ツネ子	関川 幸子	菱木 静枝	松野 敏昭	常世田やす子	鈴木十世志

川口 城司 推薦

手作りのかみなり豆腐紙ふうせん

川 辺	加瀬 きよ
-----	-------

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班

〒289-2198
匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎ 73・0080 FAX 72・1114